

第13期第3回 広報委員会

日時：2024.11.16 12:00～ 13:00

場所：群馬県庁 32階 NETSUGEN 会議室

参加者：西村、角田、小峯、常見、上田、酒井（書記）

- GN98号最終確認
- GN99号編集会議
- GN100号企画会議
- その他

各号発行時期とスケジュールの確認

- 令和6年度活動計画案

資料1

- 群馬県環境アドバイザー連絡協議会

| 月 | 活動内容 |
|------------|---|
| 4月 | |
| 5月 | ・ 地区別説明会の開催 【14(火)】西部、【15(水)】中部、【17(金)】東部、 【22(水)】吾妻・利根沼田、【29(水)】予備(県庁) |
| 6月 | ★【5(水)】GN97号編集会議 ・ 【18(火)】第1回幹事会の開催 ・ 【26(水)】総会 |
| 7月 | ★【31日(水)】GN97号〆切 |
| 8月 | ★【20日(火)】GN97号発行 |
| 9月 | ★【18日(水)】GN98号編集会議 ・ 【中旬】第2回幹事会の開催 |
| 10月 | ・ 【下旬】環境にやさしい買い物スタイル啓発活動への参加 |
| 11月 | ・ 【上旬～中旬】環境にやさしい買い物スタイル啓発活動への参加 ・ 【2(土)】環境フォーラムの開催 ・ 【16(土)】ぐんま環境フェスティバルへの出展 ★【16(土)】GN98号発行・GN99号編集会議 |
| 12月 | ・ 【中旬】第3回幹事会の開催 ★【20(金)】GN99号〆切 |
| 令和7年 1月 | ★【20(月)】GN99号発行・GN100号編集会議 |
| 2月 | |
| 3月 | ・ 【中旬】第4回幹事会の開催 ★【20(木)】GN100号〆切 |
| 4月 | ★【21(月)】GN100号発行 |
| 5月 | |
| 6月 | |
| 7月 | |

総会資料に加筆

議事

- 1, GN98 の最終確認
参加者で原稿チェック
最終ページに問い合わせ先入れる
修正箇所最終報告 11/20 までに！
- 2, GN99 の編集について
次回発行は、来年 1 月
原稿〆切 12 月 20 日

| ページ | 上段 | 下段 |
|-----|-----------------------|------------------------------------|
| 1 | 表紙写真：募集！ | 目次 |
| 2 | 県担当（依頼済） | |
| 3 | 代表担当：松岡さん（依頼済） | 養蜂家 岩崎恵子さん（依頼済） |
| 4 | 自然部会（依頼済） | ごみ部会（依頼済） |
| 5 | 温暖化・エネルギー部会（依頼済） | 環境フェスティバル 反町さん（依頼済） |
| 6 | 大泉町の平田綾香（幹事） 西村さんから依頼 | 上州ぐんま実践 ESD 研究会 学生とかに執筆依頼するか？（依頼済） |
| 7 | 食品ロス全国大会（G ムッセ）（依頼済） | 生き物たちの庭ガーデンクラブ 井上さん（依頼済） |
| 8 | ??? | 編集後記：執筆担当 小峯さん |

GN 発行（例年：4 月，7 月，10 月，1 月）
原稿締め切り、発行前月の 20 日ごろ

- 3, GN100 特別号【記念号】（GN1 号は平成 5（1993）年 7 月発行）
 - アイデア出し
 - 県ページは、部長などに依頼したい【1 P】
 - 環境アドバイザーの礎を築いてくれた先輩からのコメント⇒【1 P】
 - 代表あいさつ【0.5P】
 - 各部会【0.5×3 = 1.5P】
 - ネイチャーポジティブ宣言⇒酒井が宣言文たたき台を作成⇒100 号までに取得【0.5P】
 - デコ活宣言⇒温暖化・エネルギー部会相談（本多さんに相談）⇒100 号までに取得【0.5P】
 - 環境アドバイザー年表のようなもの（主な出来事）【1 P】
 - 編集後記【0.5P】
- 4, その他
 - ネイチャーポジティブ宣言（環境省）【資料 3】
 - デコ活宣言（環境省）【資料 4】

- 記事を書こうワークショップ！広報委員会主催のイベント（活動が活発になる前の5月ごろ開催がよいか？）⇒伝える・広げる！エコカレッジなどでも取り上げられたら嬉しい！
- 素晴らしい環境活動をしている企業も多い、どのように伝えるか？（ミツカン）（常見）⇒アドバイザーが見学や取材を行い、企業の社会的貢献という視点で記事にしてはどうか？
- 川場村の世田谷区民健康村で、一泊&里山体験など（常見）
- 若い人たちを取り込みたい（勢多農・高商大 etc.）⇒環境フェスティバルにて尾瀬高校の生徒にアドバイザー登録を促した（上田）
- 地域の活動や地域環境学習推進事業の実施者には、原稿依頼の声掛けを行う（ストック記事の確保）
- これまではアドバイザー間の交流がメインのGNのすそ野を一般の方々まで広げたい！⇒フォーラムでの意見募集（SNS利用、AI動画化など）⇒段階的に進めていきたい、まずはX（県の）の利用拡大から
- 県庁のNETSUGENでもイベントスペースや伝言板がある。利用してはどうか？（角田）

資料 2

令和6年度 地域環境学習推進事業実施予定事業一覧

| No. | 事業名等 | 講座名等 | 開催日 | 曜 | 定員 | 対象 |
|-----|---|--|--------|---|----------|----------|
| 1 | 群馬県環境アドバイザー 高崎地区会 会長 原田 邦昭 | | | | | |
| | 井野川の動植物観察による環境調査 | 井野川の水生物調査による水質判定 | 7月28日 | 日 | 30 | 幼児 以上 |
| | | 井野川堤防周辺の植生観察 | 9月21日 | 土 | 20 | 幼児 以上 |
| 2 | 群馬県環境アドバイザー連絡協議会 温暖化・エネルギー部会 副部会長 金子 昭一 | | | | | |
| | エシカル消費とエシカル投資・グリーン投資でストップ地球温暖化 ～市民活動と企業活動の連携・連動を考える～ | エシカル消費とグリーン投資の理解と、ゲームで脱炭素まちづくりを体験する | 9月21日 | 土 | 50 30 | 小5 以上 |
| 3 | 南橋の自然観察と環境を守る会 会長 宗 義彦 | | | | | |
| | 身近な自然に目を向けて、地域の自然環境を守ろう。 | 桃ノ木川上流域の自然観察会 | 7月7日 | 日 | 50 | 幼児 以上 |
| | | 赤城白川下流域の自然観察会と河川敷の清掃 | 10月6日 | 日 | 50 | 幼児 以上 |
| | | 敷島公園冬鳥の観察会 | 1月26日 | 日 | 50 | 幼児 以上 |
| 4 | 共愛学園前橋国際大学短期大学部食育研究会 代表 木村 祐美 | | | | | |
| | エコ・クッキングを学ぼう！（ソーラークッカー体験） | エコ・クッキングで、身近な食生活からエコ活動をはじめよう。（ソーラークッカーを体験してみよう。） | 8月18日 | 日 | 24 | 中学生 以下 |
| 5 | ぐんま森林インストラクター会 会長 根岸 稔 | | | | | |
| | 小根山森林公園落ち葉を歩く観察会 ～巨木のスカケノキやケヤキの落ち葉の道を歩こう～ | 小根山森林公園落ち葉を歩く観察会 ～巨木のスカケノキやケヤキの落ち葉の道を歩こう～ | 11月16日 | 土 | 30 | 幼児 以上 |
| 6 | 生きものたちの庭ガーデンクラブ 代表 井上 金治 | | | | | |
| | 楽しく学ぶ親子環境教室 | 天然の素材を利用しよう | 11月17日 | 日 | 15 | 幼児 以上 |
| | | 自然の力を体験しよう | 12月8日 | 日 | 15 | 幼児 以上 |
| 7 | NPO法人新田環境みらいの会 理事長 西村 豊 | | | | | |
| | 新田地域の湧水地周辺の自然環境観察と食品ロス削減についての講演会 | 新田地域の湧水地周辺の自然観察 | 10月27日 | 日 | 20 | 小5 以上 |
| | | 食品ロス削減についての講演会 | 12月15日 | 日 | 30 | 小5 以上 |
| 8 | 環境カウンセラーズぐんま 会長 内山 恵子 | | | | | |
| | エコエネルギー・エコプランテーション見学ツアー～ぐんまの環境先進事例から5つのゼロ宣言を考える～ | 水は群馬の貴重な資源！ 小水力発電所開発の現場を歩く（宣言2・3） | 10月予定 | | 20 | 小5 以上 |
| | | 耕作放棄地は宝の山！ オリーブ植林による持続可能な循環型農業への挑戦（宣言2・5） | 11月予定 | | 20 | 小5 以上 |
| | 観音山丘陵の自然を守るネットワークの会 会長 近藤 英敏 | | | | | |
| 9 | 金井沢の生物多様性アップ作戦 | 金井沢の植物と生き物観察会 | 10月20日 | 日 | 20 | 中学生 以下 |
| | | 外来種（ニセアカシア）退治と笹狩りクヌギ植栽後の整備と自然観察 | 2月予定 | | 20 | 幼児 以上 |
| 10 | 上州ぐんまESD実践研究会 代表世話人 萩原 豪 | | | | | |
| | 第7回 上州ぐんま市民環境保全活動発表会&交流会（上州会議2024）～「ぐんま5つのゼロ宣言」と身近なことから始めるESD/環境SDGs活動～ | 「ぐんま5つのゼロ宣言」と身近なことから始めるESD/環境SDGs活動 | 12月14日 | 土 | 100 | 高校生 以上 |

2030 生物多様性枠組実現日本会議(J-GBF)は企業、地方公共団体、NGO 等をはじめとする様々なステークホルダーの皆様に「ネイチャーポジティブ宣言」の発出を呼びかけます。

「ネイチャーポジティブ」

「ネイチャーポジティブ(自然再興)」とは、自然を回復軌道に乗せるため、生物多様性の損失を止め、反転させることを意味します。2030 年までに「ネイチャーポジティブ(自然再興)」を実現することが、2050 年ビジョンの達成に向けた短期目標です。

「2030 年ネイチャーポジティブ(自然再興)」の実現に向けて、人類存続の基盤としての健全な生態系を確保し、自然の恵みを維持し回復させ、自然資本を守り活かす社会経済活動を広げるために、これまでの生物多様性保全施策に加えて気候変動対策や資源循環等の様々な分野の施策と連携し取り組みます。

「ネイチャーポジティブ宣言」

ネイチャーポジティブの実現に向けた第一歩として、ステークホルダーの皆様活動を表明していただく宣言です。

ネイチャーポジティブの実現には多様なステークホルダーの実践・協力・協業が必要です。ステークホルダーの皆様、それぞれの想いを載せた宣言をしていただくことで更に一歩前進することができますと考えております。

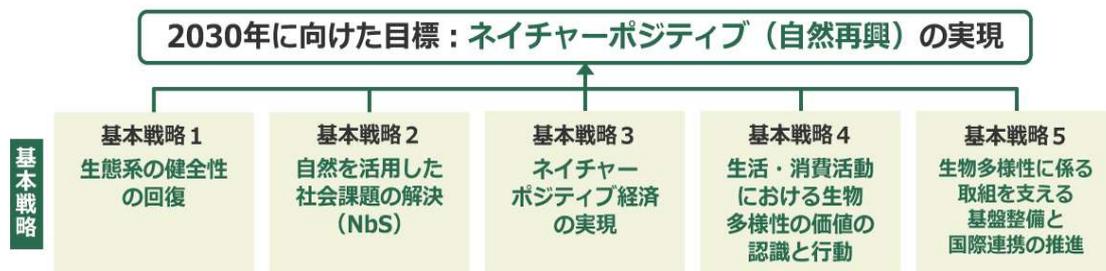
J-GBF の活動について

J-GBF は、「昆明・モントリオール生物多様性枠組」の実現、「生物多様性国家戦略」の推進に向け、また、2030 年のネイチャーポジティブの実現を目指して様々な活動を実施しています。

2023 年 2 月 28 日には、第一回 J-GBF 総会において、「J-GBF ネイチャーポジティブ宣言」を発表し、この宣言に基づき、2023 年 9 月 12 日第二回 J-GBF 総会において「J-GBF ネイチャーポジティブ行動計画」を公表しました。

「ネイチャーポジティブ宣言」の発出、登録について

ネイチャーポジティブを目指す宣言を発出し、J-GBF にご登録をお願いします。
宣言のネーミングは、宣言される団体の自由としますが、“ネイチャーポジティブの実現を目指す”という意図を含むことが前提となります。
最小限の内容の目安としては、生物多様性国家戦略の5つの基本戦略の少なくとも1つに該当する内容を含むものとします。



宣言の登録方法

- 「ネイチャーポジティブ宣言ポータルサイト」より、「ネイチャーポジティブ宣言フォーム」に記入、送信してください。
- 登録された各団体の「ネイチャーポジティブ宣言」は、データベース化し、ポータルサイトに掲載します。
- 登録の方法、詳細は、以下ポータルサイトをご参照ください。

「ネイチャーポジティブ宣言」発出団体限定ロゴマークについて

「ネイチャーポジティブ宣言」を発出、登録した団体等は宣言の登録後にロゴデータが送付されます。
このロゴマークは宣言を登録した団体等のみが使用することができます。なお、このロゴマークはネイチャーポジティブイメージキャラクター「だいたらぽじー」を活かしたデザインとなっています。



- 参考データ** (令和6年11月時点)
- 「デコ活」立上げ: 令和4年(2022年)10月25日
 - デコ活応援団(官民連携協議会)会員: 約1,900
(企業 約1,100、自治体 約300、団体等 約500)
 - 取組、製品・サービス発信: 約500
 - 官民連携プロジェクト数: 約80(活動中含む)
 - デコ活宣言: 約10,800
(企業、自治体、団体 約2,200、個人 約8,600)
- ※デコ活: 「脱炭素につなげる新しい暮らしを創る国民運動」の愛称

デコ活

くらしの中のエコロがけ

ロゴマークは、一人ひとりの日常の取組が大きくなるエコなる「パタライエフェクト」をイメージし、緑のデザインを採用

環境省 地球環境局 デコ活応援隊

(環境省ライフスタイル推進課) (局長 豊田)

T 150-8975
東京都千代田区霞が関1-2-2

T E L : 03-5521-8341
M A I L : dekokatsu@emsc.go.jp



デコ活ホームページ



「デコ活」のすすめ

デコ活
くらしの中のエコロがけ

「デコ活」のすすめ

国民・消費者のより良い豊かな暮らしや働き方を実現しCO₂削減につなげる

国として初めて将来の暮らしの絵巻を提示

脱炭素につながる **新しい豊かな暮らしの10年絵巻**

2030年までにCO₂排出量を2013年比で45%削減
2050年までにCO₂排出量を2013年比で88%削減

- 事例**
- ① 長崎市の環境性能向上に交換予約フォームに補助金提供 (最大20万円)
 - ② 消費者向けに環境性能を算出するとともに、心セレクトを採択し、省エネを実現
 - ③ 公共交通(電車、バス等)のフリー乗車券と体験イベントを連携させた行動変容の喚起に
-

まずはここから始める4つの取組

- デコ活アクション** #デコ活
- 🏠 家も省エネ 省燃住宅
 - 🛒 ここにあるものが エコグッズ
 - 🍴 食の心 食べ残しゼロ
 - 💻 つながるオフィス テレワーク

国民の暮らし創りを官民で後押し

- 「デコ活応援団」(官民連携協議会: 約1,900の企業、自治体、団体等が参加)
- 「デコ活予算」豊かな暮らし関連予算
(令和5年度補正予算及び令和6年度当初予算総額: 2,940億円)
※企業、自治体、団体等のプロジェクトを支援(新規予算: 38億円)
- 「暮らしの10年ロードマップ」戦略的に取組を展開するため令和6年2月に策定

お読み

- ① 「デコ活応援団」への参加と国民の暮らしを後押しする **官民連携プロジェクト** の実施
- ② 「デコ活宣言」(取組、製品、サービスで国民の暮らしを後押し・自ら率先してデコ活を実践) の実施
- ③ 日々の取組に「#デコ活」をつけてSNS等で発信・拡散